

■第 11 回精神障害者自立支援活動賞（リリー賞）受賞者 【支援者部門】

福祉の枠を超えた経営センスと多角的な事業展開で、精神障害者の自立生活を支援

NPO 法人 多摩草むらの会 【東京都多摩市】

1997 年、同じデイケアに通う精神障害者の家族会として発足。グループホームの設立を皮切りに、レストラン、農園、弁当の製造販売など多角的に事業を展開し、精神障害者に就労機会や生活の場を提供。現在では、約 360 人の当事者をサポートする都内最大規模の精神障害者支援活動となっている。2014 年には大型商業施設内のレストラン街に出店するなど、精神障害者が福祉の枠を超えて社会とつながり、地域で安心して自立生活ができるよう活動している。経営的な視点を持ち、事業に収益性を求めながら、地域に即した精神保健福祉活動の充実をはかってきた点が高く評価された。

●居場所を求めた家族会から、当年度事業規模 6 億円超に

デイケアの後に行く場所のなかった当時 20～30 代の精神障害者とその親たちは、共同で一間を借りて本音を語り合ううち、精神障害者が「社会に出て元気になれる道」の模索を開始。「まずは親が元気に」「楽しいことをしよう」がコンセプトだったと代表理事の風間美代子さんは振り返る。2000 年にグループホームを設立後、精神障害者の就労事業などを多角的に展開し、当年度事業規模は 6 億円超にまで拡大した。現在活動するのは、当事者と職員合わせて約 540 人。さらにインターンや有償無償のボランティアが加わる。当事者のうち約 360 人が精神障害者で知的・身体障害者も受け入れる。約 160 人いる職員には定年退職後の人材を積極的に雇用し、他にも看護師や宅建主任などの専門職やパート、学生アルバイトなど多彩な顔ぶれが揃う。



2004 年に NPO 法人化。現在約 360 人の精神障害者が、活動に共感した行政 OB、銀行 OB など多彩なスタッフらとともに活動している

●多様な就労支援事業で当事者の経済的自立を目指す

「プライドを持って働けること、そして経済的に自立できることが大事」と風間さん。レストラン「畑 de きっちゃん」では料理はもちろんのこと内装、サービスにも手を抜かず、当事者が雇用契約のもと健常者と共に働いている。当事者が増えるにつれて事業が拡大し、他に就労継続支援 B 型事業所 8 ヶ所、施設外就労先 1 ヶ所、グループホーム 9 ユニット、相談支援センター 1 ヶ所を運営。当事者は接客、製造、清掃など多様な事業から自身の症状や特性に合った仕事を選ぶことができる。“社会に出たい”と願う当事者を支えるため、職員は事業に収益性を求めて創意工夫を凝らしている。



就労継続支援 A 型事業所としては画期的な大型商業施設の レストラン街への出店となったレストラン「畑 de きっちゃん」

●就労経験から社会に出る自信を取り戻す

就労経験を経て、一般企業に就職する人や調理師免許を取得する人もいる。「当事者同士で悩みを話せることが何よりよかった」と話すうつ病の男性は、グループホームで生活しながら少しずつ社会に出る自信を取り戻し、今春、精神保健福祉士の資格取得を目指して通信制の大学に入学する予定だ。



農園「夢畑」で育てた野菜は病院食にも採用されている。多摩センター駅前や道の駅でも販売

●発足から 19 年、活動のこれから

風間さんの目下の夢は、精神障害者のための高齢者施設の開設と、年々増える発達障害のメンバーに合った就労事業の開発だ。組織力を生かし、新たな試みに挑んでいく。

【NPO 法人 多摩草むらの会 WEB サイト】 <http://kusamura.org>